

# 経験糧に技術力向上へ

## 日さく 社内技術発表会を開催

日さくはさきごろ、今年度の社内技術発表会をオンライン形式で開催した。テーマは「培ってきた経験を糧にして、日々技術力向上に努めよう！」で、全国の各事業所・各部門から12人の社員が発表し、約150人の社員が聴講した。

同発表会は、定期的に集合形式で開催していたが、2020年度はコロナ禍で開催を断念、21年度からは中堅・若手社員による実行委員会が企画し当日の進行をオンラインで行う形式となっている。今回で4回目のオンライン開催となったが、前回からの改善点として、事前に予稿集を社内ポータルサイトに掲載し、事前に質問を受け付けることで、発表者があるかじめ回答を準備できるようにしたことなどにより、当日の進行がスムーズになるなどの成果があった。

また、当日の聴講は自由参加であるにもかかわらず、役職や雇用形態、技術職、事務職を問わず、全役員・従業員の半数が参加した。同社が目指す「役職・立場にかかわらずだれでも臆さず挑戦できる環境」の構築に向けた機運の高まりを確認することができたという。



オンライン形式で開催した技術発表会

林直樹・社長が受賞者一人ひとりへの期待を込めて作成した。若林社長は、「発表者はアウトプットする手法を学んでおり、成長していることを感じた。今後は、聴講者が発表内容や方法を各自の業務に活用するという視点を持って発表してもらうと、発表会としてより成果が得られると思う。各自が取り組んでいる技術や業務が、地域や社会に貢献していることを常に意識し、多くの人に喜ばれ、満足していただく仕事を目指してほしい」とコメントしている。

最優秀賞と優秀賞は次の通り。  
▽最優秀賞Ⅱ「令和6年能登半島地震における上越地域の地すべり観測事例」(上越支店・沼澤輝久氏)▽優秀賞Ⅱ「工事現場における水中ドローンの活用」(仙台支店・後藤匠氏)、「総務課1年目の業務と取り組み」(総務部・内蘭朱音氏)